



MIGA

Multilateral Investment
Guarantee Agency
WORLD BANK GROUP



2017

年次報告書

海外投資に保証を、
事業機会を確実に



ジム・ヨン・キム博士

世界銀行グループ総裁兼理事会議長

世界銀行グループ総裁兼理事会議長からのメッセージ

私は常々、世界がいかに小さくなったかを各地を訪れる度に実感します。今日、インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアといったテクノロジーのおかげで、誰もが他人の暮らしぶりについて知る事ができるようになりました。そして、先進国の生活水準など知る由もなかった世界の貧困層もまた、その暮らしぶりを垣間見るようになったのです。

これがきっかけで、彼らは自らの生活についてこれまでと違った捉え方をするようになり、様々な可能性に期待を膨らませるようになりました。かつて人は、自らが暮らす地域で見聞きした事に応じてそれぞれ異なる望みを抱いていたものですが、今では世界中の人々が同じような願望を抱くようになりました。そして、人々の願望が大きくなるにつれ、教育、雇用、更には医療や運輸といった各種のサービスに対する需要も膨らんでいきます。なぜならこうしたサービスは、自分や家族により良い暮らしを実現するための機会を与えてくれるからです。ところが、このように世界が実質的に縮小する一方で、人々の格差は広がりつつあります。この格差を埋める事こそが世界銀行グループの役割であり、大いなる願いでもあるのです。世界銀行グループが有するエネルギー、知識、創造性、資金力を総動員し、途上国が国民の願望をかえられるよう支援していかなければなりません。

そのためには、2030年までに極度の貧困を撲滅し、低・中所得国における所得の下位40%の人々の繁栄を促進する

という2大目標に向けた取組みを加速する必要があります。この目標の達成に向けて世界銀行グループは、途上国において持続可能かつ包摂的な経済成長の基盤を構築し、個人、ひいては国家がその潜在能力をいかに発揮して明るい未来を思い描く事ができるよう支援しています。具体的には、若者を中心に人への投資を進める一方、パンデミック、気候変動、難民、飢饉など、多くの人々に影響を与える地球規模のショックに対する強靱性の強化にも取り組んでいます。

ただし、世界が小さくなったと感じられる一方で、課題は急増しています。そうした課題に対応していくためには、絶えず進化し、適応する必要があります。現在、世界銀行グループは、開発資金動員のアプローチについて根本的な見直しを進めているところです。世界銀行グループが扱う資金は数十億ドルであるのに対し、世界全体で必要とされる開発資金は年間数兆ドルに上ります。従って、限られた資金をこれまで以上に有効活用し、民間投資のクラウドイン効果を高めながら、世界銀行グループの専門知識と共に途上国への投資に回さなければなりません。

これほど大規模な資金動員を促すには、援助受入国、中でも最貧国や脆弱国において市場を創出し、民間セクターならではの活力とイノベーションを取り入れていく必要があります。まず最初にすべきことは、そのプロジェクトが政府資

金やドナー 援助ではなく、民間資本による資金提供に適しているかどうかを見極める事です。もし民間投資に適さない場合は、パートナーと協力してプロジェクト、セクター、国の各レベルでリスクを軽減する必要があります。そのためには、対話と知識移転を通じて政府による法令改正や経済慣行の改善を支援し、更には開発資金調達のための新しくより効率的な方法を浸透させる事も効果的です。容易ではありませんが、それが時代の求めに合う形で途上国支援を進める唯一の方法なのです。

2017 年度、世界銀行グループは加盟国の政府や民間セクターに対して、総額 610 億ドルを上回る融資、贈与、直接投資、保証をコミットしました。国際復興開発銀行 (IBRD) は、援助受入国からの貸出需要が続く中、総額 226 億ドルをコミットしました。最貧困層を支援する組織である国際開発協会 (IDA) は、特に困窮している国が困難な課題に立ち向かえるよう 195 億ドルをコミットしました。

世界銀行グループは、革新的な資金調達 を用いて IDA の開発支援を大幅に拡大する事を約束しました。具体的には、資本金のレバレッジを活用した債券市場での資金調達を行い、この資金と内部資金、そしてドナー国からの拠出金を併せたブレンド型資金モデルを提供します。こうした取組みとパートナーからの多大な継続支援の結果、IDA 第 18

次増資 (IDA18) のコミットメントは過去最高の 750 億ドルに達しました。2018 年度に向けて我々は、25 億ドルの民間セクター・ウィンドウなど新たなツールを活用した最貧国向けの民間資本の動員を図っていきます。

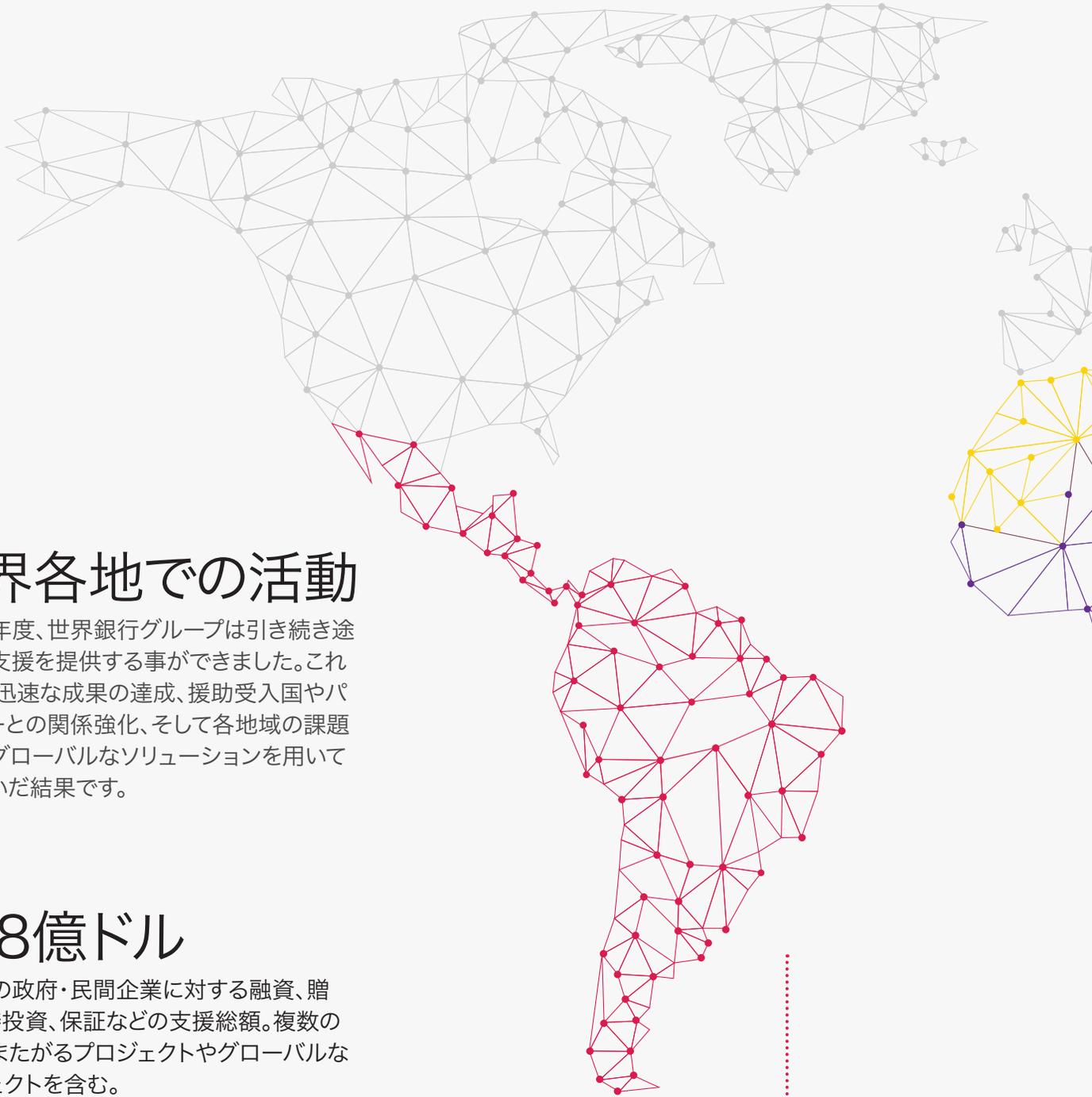
世界銀行グループで民間セクターを支援する国際金融公社 (IFC) と多数国間投資保証機関 (MIGA) の2機関 は、途上国における市場創出と民間投資のクラウドインを主導しています。

IFC が民間セクター開発のために提供した投融資総額は、他の投資家から動員した約 75 億ドルを含め約 193 億ドルに達しました。この内 46 億ドル近くが IDA 対象国向けで、約 9 億ドルが脆弱・紛争地域向けでした。

MIGA は、民間の投資家や貸手を途上国に誘致するために、48 億ドルに上る政治的リスク保険や信用補完を提供しました。2017 年度では、プロジェクトの 45% が IDA 対象国向け、21% が紛争・脆弱国向けでした。

世界銀行グループは、急速な変化に効果的かつ迅速に対応するために、知識、資源、新たなツールの活用を図っています。途上国が開発課題を克服し平等な機会を創出できるよう、そして全ての人の願いをかなえる機会が提供されるよう、これからも支援を拡大・強化していく所存です。

MIGAの使命は、途上国への対外直接投資の促進を通じて、極度の貧困を撲滅し繁栄の共有の促進を図ることにあります。



世界各地での活動

2017 年度、世界銀行グループは引き続き途上国に支援を提供する事ができました。これは、より迅速な成果の達成、援助受入国やパートナーとの関係強化、そして各地域の課題解決にグローバルなソリューションを用いて力を注いだ結果です。

618億ドル

加盟国の政府・民間企業に対する融資、贈与、直接投資、保証などの支援総額。複数の地域にまたがるプロジェクトやグローバルなプロジェクトを含む。

地域別内訳は世界銀行の分類による。

97 億ドル

ラテンアメリカ&カリブ海地域

71億ドル

中東&北アフリカ地域

95億ドル

Eヨーロッパ&中央アジア地域

97億ドル

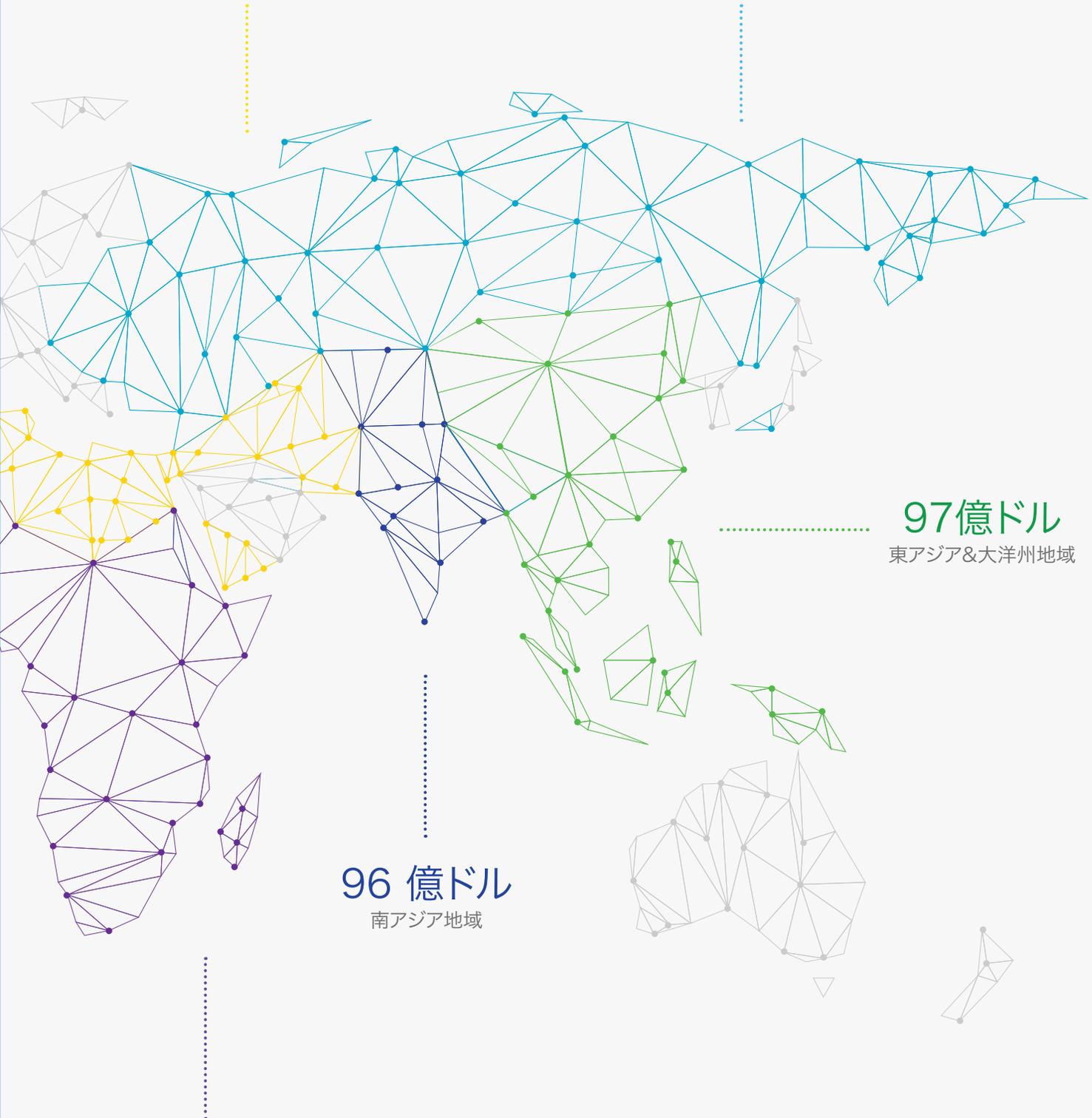
東アジア&大洋州地域

96億ドル

南アジア地域

162億ドル

サブサハラ・アフリカ地域



世界銀行グループによる支援

	2013	2014	2015	2016	2017
世界銀行グループ					
承認額 ^a	50,232	58,190	59,776	64,185	61,783
実行額 ^b	40,570	44,398	44,582	49,039	43,853
IBRD					
承認額	15,249	18,604	23,528	29,729	22,611
実行額	16,030	18,761	19,012	22,532	17,861
IDA					
承認額	16,298	22,239	18,966	16,171	19,513 ^c
実行額	11,228	13,432	12,905	13,191	12,718 ^c
IFC					
承認額 ^d	11,008	9,967	10,539	11,117	11,854
実行額	9,971	8,904	9,264	9,953	10,355
MIGA					
総引受額	2,781	3,155	2,828	4,258	4,842
援助受入国実施信託基金					
承認額	4,897	4,225	3,914	2,910	2,962
実行額	3,341	3,301	3,401	3,363	2,919

年度別、単位：100万米ドル

a. IBRD、IDA、IFC、援助受入国実施信託基金（RETF）のコミットメント、および MIGA の引受総額を含む。RETF コミットメントは援助受入国実施グラントの全てを含んでおり、信託基金による活動の一部のみを反映する世界銀行グループのコーポレート・スコアカード記載のコミットメント総額とは異なる。

b. IBRD、IDA、IFC、RETF の支援実行額を含む。

c. データにはパンデミック緊急ファシリティのための 5,000 万ドルのグラントのコミットメントおよび実行額を含む。

d. IFC 自己勘定の長期コミットメント。短期融資や他の投資家を通じて動員した資金を除く。

世界銀行グループの各機関

世界銀行グループは、途上国に資金や知識を提供する世界有数の機関であり、貧困の撲滅、繁栄の共有の促進、持続可能な開発の推進という共通の目的を持つ 5 つの機関で構成されています。

IBRD

国際復興開発銀行

中所得国及び信用力のある低所得国の政府を対象に貸出を提供。

IDA

国際開発協会

最貧国の政府を対象にクレジットと呼ばれる無利子の融資や贈与を提供。

MIGA

多数国間投資保証機関

新興国への対外直接投資 (FDI) を促進するために投資家や貸手に政治的リスク保険や信用補完を提供。

IFC

国際金融公社

途上国の民間セクター向け投資を促進するための投融資、アドバイザー・サービスを提供。

ICSID

投資紛争解決国際センター

国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供。



本田桂子

多数国間投資保証機関
長官兼CEO

本田桂子からのメッセージ

2017年度もMIGAは、極度の貧困の撲滅と繁栄の共有の促進という世界銀行グループの2大目標の達成に向け、IDA(低所得)諸国、脆弱・紛争地域、気候変動そしてイノベーションを中心に取組みを進めていきました。

我々が支援したプロジェクトにより、850万人が電気を使うようになるとともに、温室効果ガスの排出回避量は110万に達し、870万人が保健医療を利用できるようになると見込まれています。また、民間投資家に対し過去最高となる48億ドルの保証を提供しました。

我々のプロジェクトの約半数がIDA諸国で行われました。さらに脆弱国そして紛争の影響下にある国々での投資を支援するため不断の努力を重ねてきました。こうした取組みは現在、我々のポートフォリオの10%を占めています。

MIGAは、プロジェクトリスクをソブリンリスクから遮断するという革新的なプロジェクトボンドを市場に送り出しました。これを我々はトルコで試みました。同国でMIGAは、トルコ政府による画期的な「医療・保健分野における官民連携モデル(PPP)」をIFCとともに支援しました。また、MIGAの

20年間の保証とEBRDの流動性向上のための制度により、インフラボンドはソブリン債を2段階上回る信用格付けを取得しました。

我々はジェンダーCEO賞のイニシアティブも拡大しました。国際女性デーには、オールドウィッチ・インターナショナルの取締役であるヘレン・ターノイ氏を表彰しました。これは同氏が、約20年に及ぶアフリカでの数々の電力供給プロジェクトで発揮した指導力と、ナイジェリアの450MW発電所に関連し果たした重要な役割をたたえたものです。

世界銀行グループは、開発効果の向上に向けた取組みにおいて、開発資金の抜本的な見直しが必要との認識のもと特に民間投資の拡大を優先課題と考えています。MIGAは、世界銀行グループの「開発資金を最大限活用する」ためのイニシアティブに、世界銀行およびIFCと密接に連携し貢献していきます。新年度も、世界の貧困削減、経済成長の促進、人々の生活の向上というMIGAの使命を果たすべく、大胆かつ野心的な取組みを進めていく所存です。

MIGA経営陣



(左から)

Aradhana Kumar-Capoor, 法律担当局長兼法律顧問

Sarvesh Suri, 業務担当局長

Karin Finkelston, 副長官兼COO

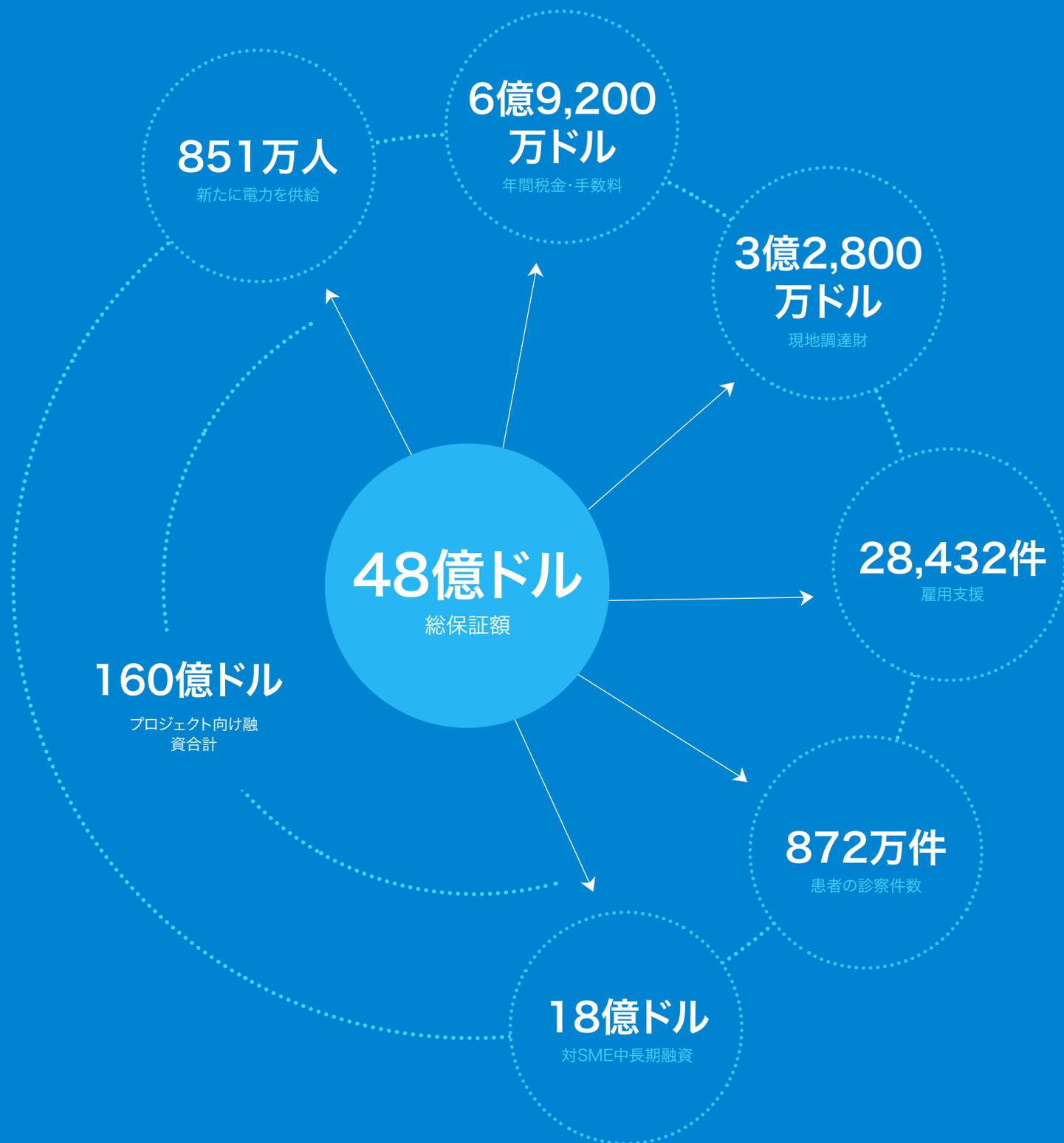
Muhamet Bamba Fall, 業務担当副局長・保険引受責任者

Keiko Honda, MIGA長官兼CEO

Santiago Assalini, コーポレート・リスク担当局長

Merli Margaret Baroudi, 経済・持続可能性担当局長

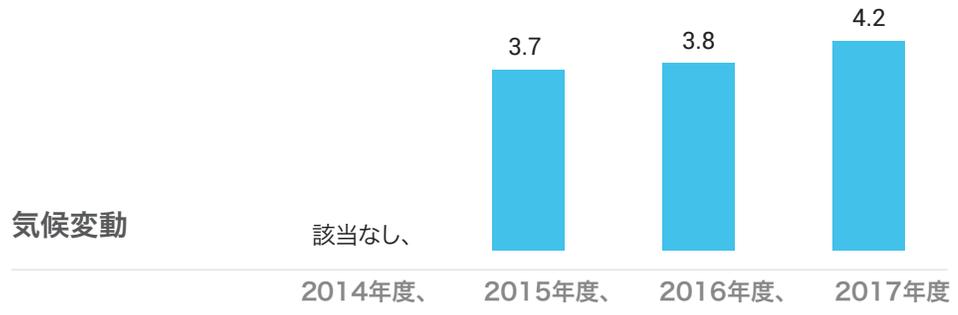
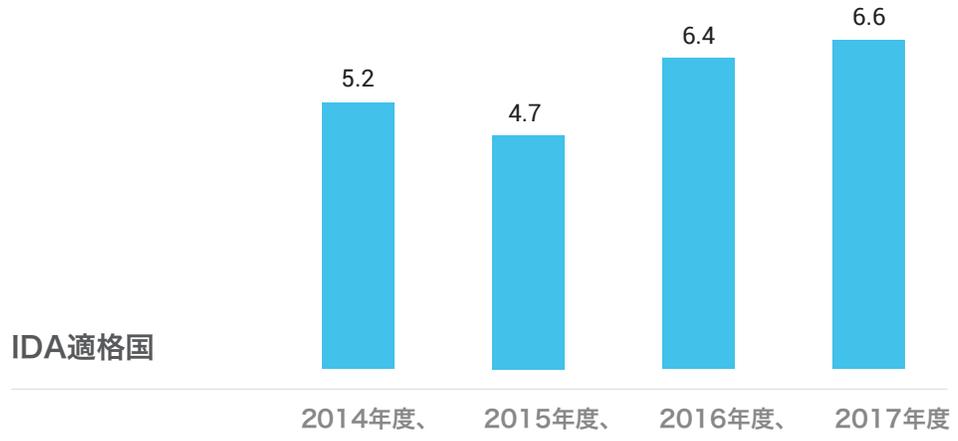
期待される開発成果



2017年度に契約に至ったMIGAの保証を受けたプロジェクトの期待される開発成果のハイライトです

優先分野: IDA適格国、FCS、および気候変動分野におけるMIGAの総保証残高は増加しました。

総保証残高 単位: 10億ドル



開発成果ハイライト

SDG:2017年度にMIGAが支援したプロジェクトは、持続可能な開発目標の前進を力強く支えると期待されています。



電気

850万人に対し電力アクセスを確保



航空輸送

年間旅客数は56万3,000人



保健医療へのアクセス

患者に対するコンサルテーションは年間872万件



温室効果ガスの排出量の削減

110万トン分(換算)の二酸化炭素の排出を回避





雇用

2万8,000件の直接雇用(正社員)の創出を支援

飢餓をゼロに
目標2

産業と技術革新の
基盤をつくらう
目標9

貧困をなくそう
目標1

人や国の不平等を
なくそう
目標10

働きがいも経済
成長も
目標8

パートナーシップで
目標を達成しよう
目標17



金融サービスへのアクセス

SME向け中・長期融資は年間18億ドル

飢餓をゼロに
目標2

ジェンダー平等を
実現しよう
目標5

貧困をなくそう
目標1

人や国の不平等を
なくそう
目標10

働きがいも経済
成長も
目標8

パートナーシップで
目標を達成しよう
目標17



経済成長

現地調達財は年間3億2,800万ドル

産業と技術革新の
基盤をつくらう
目標9

貧困をなくそう
目標1

働きがいも経済
成長も
目標8

パートナーシップで
目標を達成しよう
目標17



税収

地方税及び手数料による収入は年間6億9,200万ドル

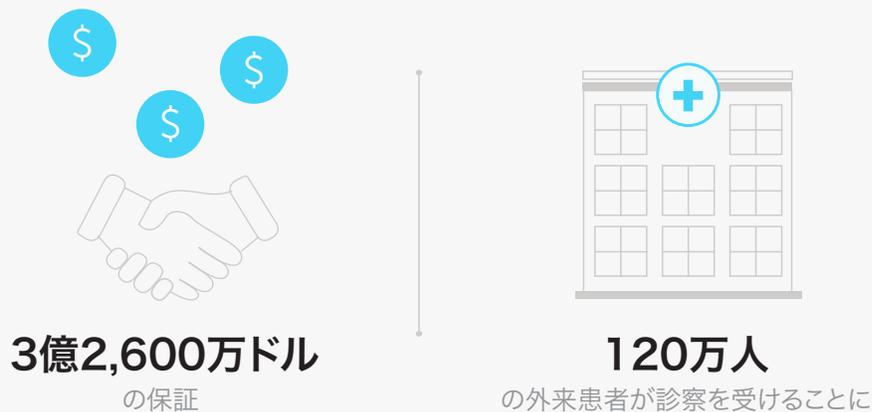
産業と技術革新の
基盤をつくらう
目標9

貧困をなくそう
目標1

働きがいも経済
成長も
目標8

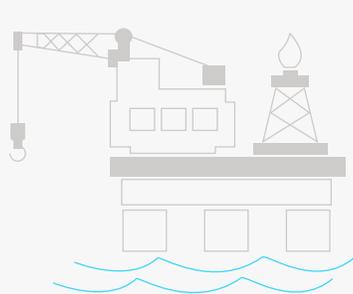
パートナーシップで
目標を達成しよう
目標17

MIGAは、経済的、環境的、社会的に持続可能なプロジェクトを推進することで、大きな開発効果をもたらすことにコミットしています。1988年の設立以来、MIGAは加盟110カ国で800件を超えるプロジェクトを支援するため、450億ドル以上の保証を提供してきました。また、加盟国における複数のプログラムを地域レベル・世界レベルで支援してきました。



1 トルコ: プロジェクトリスクをソブリンリスクから遮断する保証の画期的な応用

MIGAの2億8,800万ユーロに及ぶ社債に対する保証は、プロジェクトリスクをソブリンリスクから引き離すことに貢献しました。これが投資家を呼び込み、結果、トルコの東アナトリア地方のエラズーでの病院の新規建設資金と運営資金を調達することができました。MIGAの20年間の保証と欧州復興開発銀行 (EBRD) の流動性向上のための制度を理由にMoody'sはこの債券の信用格付けをBaa2としました。これはトルコのソブリン格付けを上回ります。この新たな格付けにより、プロジェクトの投資家にかかる資金調達コストが低下しました。またこれは、トルコにおける病院官民パートナーシップ (PPP) のグリーンフィールド・プロジェクトの資金調達でインフラボンドが活用された初のケースであり、MIGAおよびEBRDの支援は長期投資家を誘致する上で不可欠でした。このボンドはVigeo EIRISから「グリーンおよびソーシャル」の認定を受けました。



23億ドル

これにより期待される政府歳入



2億1,700万ドル

の保証

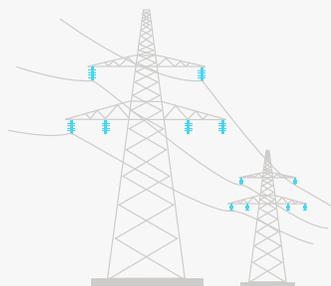
2 ガーナ: 世界銀行グループのガスプロジェクト支援が支える天然ガスへの転換

世界銀行グループが2015年に提供した7億ドルの保証パッケージを基に、MIGAとIFCは、ガーナのサンコファ・ガスプロジェクトを支援するため、5億1,700万ドルの融資と保証にコミットしました。サンコファプロジェクトは、オフショアの石油と天然ガスの統合プロジェクトで、西アフリカのIDA国である同国の手頃な価格の信頼できるエネルギー供給源になると期待されています。このプロジェクトは、最大1,000メガワット規模の発電を行うことで同国の増大するエネルギーへのニーズに応えるとともに、石油火力発電からよりクリーンな発電への転換を支えます。MIGAは、民間貸付機関に最大で2億1,700万ドルの政治的リスク保証を提供することにコミットしました。IFCは、2億3,500万ドルの融資にコミットするとともに、別途6,500万ドルの融資を組成しました。



2億1,560万ドル

の保証



485メガワット

ガス火力発電所

3 ヨルダン: MIGAおよびIFCによる費用効果が高く環境に配慮した発電所への支援—電力需要の増大に応える

MIGAおよびIFCは、ヨルダンの発電能力の向上のため485メガワット級のガス火力発電所の設計、建設、所有と運営を支援するとともに、環境への影響の緩和にも取り組みました。この発電所は現在閉鎖に向け作業が進められている同国で最も古く最も効率性に欠ける石油火力発電所に代わり、同国で最もエネルギー効率が高く環境に配慮したガス火力発電所として電気を供給することになります。発電コストは現在の平均的コストの約3分の1になる見込みです。MIGAは、19年間にわたり保証を提供し最大で2億1,560万ドルの民間融資を保証しました。IFCは、コンバインドサイクルプラントに対し最大7,500万ドルの投融資を行い、2億ドルの融資を別途組成しました。

ガバナンス

MIGAの総務会及び理事会

加盟国181カ国を代表する総務会および理事会がMIGAのプログラムや活動を指導しています。各加盟国はそれぞれ総務1名と総務代理1名を任命します。MIGAの権能は総務会に委ねられ、さらに総務会はその権能のほとんどを25名で構成される理事会に託しています。議決権数は、各理事が代表する国の出資比率に応じて加重されます。理事はワシントンDCにある世界銀行グループ本部で定期的に会合を開き、投資保証プロジェクトの審査と決定、ならびに全般的な運営方針の監督に当たります。

詳細については、総務会および理事会のウェブサイトをご覧ください:

<http://www.worldbank.org/en/about/leadership/governors>

アカウントビリティ

独立評価グループ

独立評価グループ(IEG)は、MIGAの開発成果の向上を目的に、MIGAの戦略、方針、プロジェクトを評価しています。IEGはMIGAの運営チームから独立しており、MIGAの理事会と理事会の開発効果委員会に評価結果を直接報告します。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください:

<http://ieg.worldbankgroup.org/>

コンプライアンス・アドバイザー・オンブズマン

コンプライアンス・アドバイザー・オンブズマン(CAO)室は、MIGAとIFC(国際金融公社)の説明責任を追求する独立したメカニズムで、世界銀行グループ総裁の直下に置かれています。CAOは、MIGAとIFCが支援するビジネス活動の影響を受けた人々の苦情に対処します。その目標は、現地で環境・社会面の結果を高め、両機関の一般に対する説明責任を強化することにあります。

詳細については、CAOのウェブサイトをご覧ください:

<http://www.cao-ombudsman.org/>

経済成長、貧困削減および人々の生活の向上の支援がMIGAの大いなる目標です。MIGAが支えるプロジェクトが実際にこうした結果をもたらしているのか—これをモニタリングするため、我々は「開発効果指標システム(DEIS)」と呼ばれる開発結果を把握するためのシステムを導入しています。DEISは、全てのプロジェクトの結果を示すために、融資プロジェクト総数、直接創出した雇用数、納税額、現地調達財の金額など、一連の共通する指標のデータを顧客から収集するものです。加えて、セクター別指標も測定しています。

2017年度のMIGAの48億ドルに上る保証により、官民共同投資の総額160億ドルのプロジェクト融資がサポートされる見通しです。

左記は、MIGAの保証(2017年度契約分)を受けたプロジェクトの期待される開発成果の概要です。

財務要約

財務要約(100万ドル)	2013年度、	2014年度、	2015年度、	2016年度、	2017年度
総受取保険料	97.2	115.6	128.1	139.8	179.7
純受取保険料 ¹	66.3	72.5	79.0	86.4	93.2
投資収益	33.6	53.4	24.1	22.9	4.8
一般管理費 ²	47.1	45.6	44.9	48.1	51.3
営業利益 ³	19.2	26.9	34.1	38.3	41.9
純受取保険料に対する一般管理費の比率	71%	63%	57%	56%	55%

1. 純受取保険料は、総受取保険料および受渡手数料から、再保険業者に受け渡す保険料および仲介手数料を減じたもの。
2. 一般管理費には、年金および他の定年退職後の給付プランの費用が含まれる。
3. 営業利益は純受取保険料から一般管理費を減じたもの。



財務要約(100万ドル)	2013年度、	2014年度、	2015年度、	2016年度、	2017年度
経済資本(EC)合計*	572	620	705	663	592
株主資本	911	974	971	989	1,213
運転資本	1,178	1,262	1,312	1,329	1,398
総保証残高	10,758	12,409	12,538	14,187	17,778
運転資本に対する総保証残高の割合	9.1	9.8	9.6	10.7	12.7

* 経済資本合計は、保証ポートフォリオの資本減価に、オペレーショナル・リスクと投資リスクへの対応に要する資本を加算したもの。2017年度の経済資本(EC)は、新規のECモデルに立脚しており従来のECモデルを基盤とした過去の期間のデータとは比較が不可能。

主な出来事

2017年度、MIGAは、最も困難な市場における民間セクターの投資家との協力を記念し、3つのイベントを開催、大きな注目を集めました。

MIGAジェンダーCEO賞

クライアントの女性リーダーを表彰するジェンダーCEO賞の2年目にあたる2017年度は、オールドウィッチ・インターナショナルの取締役であるヘレン・ターノイ氏が表彰されました。同氏は、約20年に及び複数の電力関連のプロジェクトで指導力を発揮するとともに、MIGAが支援するオールドウィッチのAzura-Edo 450MW級のガス火力発電プロジェクト(ナイジェリア・エド州)への出資で重要な役割を果たしました。



年次総会

MIGAは、世界銀行グループの年次総会でのパネルディスカッション、「より多くの民間投資を呼び込むためのリスク回避」に、セネガルのアブドゥル・アジズ・トール大臣、イソベル・コールマン米国大使、そしてシティグループのラシェミニ・ヨガラントナム氏を迎え、不確実性の高い時代における途上国への民間投資の誘致について意見を交わしました。このMIGAの本田桂子長官兼CEOも参加したディスカッションで、パネリストは、民間投資家の意識の変化、より高いリターンとの必要性とリスク低減の必要性のトレードオフ、そしてリスク緩和でのMIGAの役割などについて議論しました。



春季会合

民間投資家のためのリスク回避

MIGAは、世界銀行グループの春季会合で、ヨルダンのイマード・ファーフリー財務相、ティエリ・デュ(メリディアン・インフラストラクチャー)、フィル・ベネット(EBRD)そしてジュリー・モナコ(シティバンク)の各氏を招き、パネルディスカッション、「民間投資のためのリスク回避」を開催しました。MIGAの本田桂子長官兼CEOも参加したこのディスカッションでは、政治的リスクや投資可能なプロジェクトの不足により、民間セクターが途上国への投資に消極的になるケースが極めて多いとの指摘がありました。一方、トルコの病院関連のPPPプロジェクトの資金調達のために発行された債券の格付けが2段階引き上げられたことを取り上げ、MIGAによる政治的リスク保証やEBRDの流動性の保証が、当時是非でも必要だったこの格付けの引き上げにどのように貢献したかを示しました。



連絡先情報

MIGA幹部

本田桂子

MIGA長官兼CEO
khonda@worldbank.org

Sarvesh Suri

業務担当局長兼副長官代理兼COO
ssuri1@worldbank.org

Santiago Assalini

コーポレート・リスク担当局長
sassalini@worldbank.org

Aradhana Kumar-Capoor

法律担当局長兼法律顧問
akumarcapoor@worldbank.org

Muhamet Bamba Fall

業務担当副局長・保険引受責任者
mfall3@worldbank.org

Merli Margaret Baroudi

経済・持続可能性担当局長
mbaroudi@worldbank.org

地域拠点

Jae Hyung Kwon

北アジア責任者
jkwon@worldbank.org

Christopher Millward (Acting)

欧州責任者代理
cmillward@worldbank.org

Timothy Histed

シンガポール責任者
thisted@worldbank.org

Hoda Atia Moustafa

アフリカ責任者
hmoustafa@worldbank.org

Yasumitsu Himeno

日本責任者
yhimeno@worldbank.org

Layali Abdeen

ヨルダン川西岸地区・ガザ
labdeen@worldbank.org

部門

Elena Palei

インフラ部長代理
epalei@worldbank.org

Nabil Fawaz

アグリビジネスおよび総務部長
nfawaz@worldbank.org

Olga Sclovscia

金融・資本市場部長
osclovscia@worldbank.org

Marcus Williams (Acting)

エネルギー・資源採掘産業部長代理
Mwilliams5@worldbank.org

再保険部門

Marc Roex

再保険責任者
mroex@worldbank.org

ビジネスに関するお問い合わせ

migainquiry@worldbank.org